

平成28年度スーパーグローバルハイスクール構想調書の概要

指定期間	ふりがな	さいたまけんりつうらわだいいちじよし こうとうがっこう				②所在都道府県	埼玉県	
28～32	①学校名	埼玉県立浦和第一女子高等学校						
③対象学科名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模		
	1年	2年	3年	4年	計	全日制普通科 1142名		
普通科	367	373	402		1142			
⑥研究開発構想名	「未来のための『女性学』探究プロジェクト」							
⑦研究開発の概要	<p>本校のすべての教育活動と連携させ、共通テーマ「女性学」の探究を軸に、国際的視野を持つことで地球的課題を発見し問題解決能力の育成を図るため以下の取組を行う。</p> <p>1 「SG探究の時間」「SGプログラム」を設置し課題研究を推進することにより21世紀型スキルの育成を図る。また授業形態の研究開発も合わせて実施し発信型の生徒を育成する。</p> <p>2 1の活動を支えるため大学や企業等の外部機関と連携した活動を推進する。</p> <p>3 海外との交流機会を支援し自分の考えを効果的に発信できる能力の育成を目指す。</p>							
⑧研究開発の内容等	⑧-1全体	<p>(1) 目的・目標</p> <p>本校の目指す学校像「世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力ある女性リーダー」の実現を目的に、全教育活動連携型教育プログラム「未来のための『女性学』探究プロジェクト」を実施し、グローバル・リーダーに必要な以下の3つの資質・能力の育成を目指すものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「21世紀型スキル」を備えた総合的な学力の基盤形成 ②地球的規模の課題に立ち向かう「志」の育成 ③自らの考えを適切な方法で世界に発信できる高い表現能力 <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説</p> <p>【現状の分析による課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的に本校は国際理解教育・国際交流に大きく力を入れてきた。その教育活動の実績を活かし、探求型・発信型のグローバル教育の充実に取り組んでいく必要がある。 ・海外の大学へ進学したり、世界で活躍しようとしたりする意欲を高めるために、コミュニケーション能力の一層の充実を図り海外への情報発信力を向上させる必要がある。 ・女性グローバル・リーダーを育成するには、日本や世界の、女性に関する諸課題を始めグローバル・イシューへの認識を深めなければならない。こういった課題をどうとらえ解決策を示すか、女子校である本校が生徒に考えさせる機会を与える必要がある。 <p>【研究開発の仮説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で活躍する女性グローバル・リーダーとなる人材を育成するために、本校のすべての教育活動と関連づけたSGH活動を実施し、特に「女性学」を主軸にした課題研究を行うことで課題発見の能力を育成することができる。 ・生徒の海外派遣の体験を通じ、留学や海外大学へ進学しようとする生徒を増やし、世界で活躍しようという意志を育むことができる。 ・大学や企業等の外部機関と連携したSGH活動を行うことで、学習効果を上げることができる。また、国際社会で活躍する女性モデルと接することで、女性グローバル・リーダーとなる意識を向上させることができる。 <p>(3) 成果の普及</p> <p>SGH研究成果発表会の実施、SGH研究成果報告集・SGH生徒研究論文の刊行、</p>						

	<p>SGH研究成果のHP掲載。</p>
⑧ -2 課 題 研 究	<p>(1) 課題研究内容 【統一テーマ】「未来のための『女性学』」を軸に、地球的規模での女性問題に関する課題を探究し、日本に備えるべき課題解決プランやビジネス・モデルを提案し行動する」の下、後述の「SG探究の時間Ⅰ・Ⅱ」「SGプログラム」を柱として課題研究を推進する。さらに、台湾への修学旅行を活用し、事前研究を重ねた上で、現地において台湾の大学生とのフィールドワークを実施することにより課題研究を推進する。</p> <p>(2) 実施方法・検証評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SG探究の時間」「SGプログラム」を中心に、従来行ってきたすべての教育活動と連携させ実施する。すなわち、各教科の授業、総合的な学習の時間、学校行事、部活動、SSH活動等すべての教育活動との連動を図る。さらに、国内外の大学・国際機関・企業等との連携を強化し、海外での探究活動を行うことで、さらに効果的な課題研究を推進する。課題研究の実施のため、「SG探求の時間Ⅰ・Ⅱ」「SGプログラム」「特別講義」「海外生徒派遣」について研究開発する。 ・「SGセミナー」…世界発信が可能なコミュニケーション能力や英語力を向上させるため、外国人大学院生を招き議論したり、日本や世界の文化を学んだりする「SGセミナー」を実施する。さらにその準備となる「ディベートレッスン」「プレゼンテーションレッスン」を合わせて実施する。検証評価として、生徒へのアンケート調査、生徒相互評価による評価、担当教員による生徒評価、SGH運営指導委員会による評価を実施する。 ・総合的コミュニケーション能力育成 クラス代表による「英語スピーチ発表会」による英語力向上 3年間で60～100万語をめざす「英語多読プログラム」による英語力向上 海外姉妹校提携による「国際交流プログラム」（派遣・受入）による生徒間交流 ・大学教員や本校卒業生を招いた「進路講演会」により、女性キャリアのモデル探究 評価については、以下を検証し求める。①生徒へのアンケート調査 ②生徒相互評価による評価 ③優秀論文集の作成 ④担当教員による生徒評価 ⑤大学の教員・外部連携機関の専門家等を招いた研究発表の場の設定により指導及び評価 ⑥SGH運営指導委員会 ⑦学校評議員による外部評価 ⑧研究成果発表会に参加した保護者や地域の方・外部の方へのアンケート調査 <p>(3) 必要となる教育課程の特例等 特になし</p>
⑧ -3 上 記 以 外	<p>(1) 課題研究以外の研究開発の内容・実施方法・検証評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業形態」… 東京大学・大学発教育支援コンソーシアム推進機構（CoREF）が提唱する我が国のアクティブラーニングの有力なメソッドである知識構成型ジグソー法について、大学と共同研究を行う。効果的な授業方法を研究開発し、その効果を検証する。検証評価として、生徒へのアンケート調査、全県対象の公開授業・研究協議会の開催、東京大学・大学発教育支援コンソーシアム推進機構（CoREF）と連携した報告会への参加や専用HPを活用した情報交換、教材開発及び検証・評価を実施する。 <p>(2) 課題研究の実施以外で必要となる教育課程の特例等 特になし</p> <p>(3) グローバル・リーダー育成に関する環境整備、教育課程課外の取組内容・実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県公立高校入学者選抜における「帰国生徒特別選抜の実施」 ・各種留学幹旋団体の「留学生の受入・派遣」による生徒間交流・文化交流 ・年間5冊の新書を読みまとめる「新書レポート」による読解力・表現力の育成（国語科） ・読んだ本を紹介し合う「ビブリオバトル」による読解力向上（生徒会図書委員会） ・地域への「伝統文化発表会」による日本伝統文化への理解・促進（文化系部活動）
⑨その他 特記事項	<p>英国 James Allen's Girls' School（平成26年12月4日）と台湾の臺北市立第一女子高級中學（平成27年1月22日）の2校と姉妹校提携を締結し交流を行っている。</p>